

## 保育参観 お世話になりました

9日(木)～13日(月)の保育参観には多数の保護者の皆様にお越しいただき、大変ありがとうございました。コロナの警戒度が1になっているため、人数制限をなくしたのが直前になってしまいましたが、子供たちは沢山の方々の参観をととても喜んでいました。

## 芝生開放 ・ はだし保育



4月に張り替えて養生中だった芝生を開放しました。早速こどもたちははだして感触を楽しんでいます。芝生がチクチクするので気が進まない子は、靴の底でふわふわ感を味わっているようです。まだ、完全に根付いていないので、様子を見ながらまた養生していきたいと思います。

また、雨後のぬかるみで泥あそびに夢中になっている子供たちもいます。手足をどろどろにして、山を作ったりケーキを作ったりしながら泥の感触を楽しんでいます。

大きな水たまりをバシャバシャと何度も往復している子に「楽しそうだね～」と声かけしたら、「あったかいんだよ!」と教えてくれました。「へー!冷たいのかと思ってた!」と私。五感をフル活用して遊んでいる子供たちに脱帽しました。高見から見ている大人に、子供が何を楽しんでいるのかはわからないのだなと反省しました。

## 年長のダンスを みんなで

宿泊保育の山の家で踊るダンスを、年長組の子供たちが園庭で毎朝練習していますが、最近は年少や年中の子供たちも一緒に踊るようになってきました。楽しそうに踊る年長児の姿や乗りの良い音楽に誘われて自然と大きな輪になっています。ただ一緒に跳びはねるだけでも笑顔で本当に楽しそうです。年少や年中の子供たちは、こういう形で年長児にあこがれ、自然にいろいろなことを引き継いで成長していくのだろうと思います。



## やるベンチャー 教育実習 観察実習 受け入れ

先日、高南中学校の2年生5名が「高崎市やるベンチャーウィーク」の一環として、3日間にわたって来てくれました。中学生の表情が日に日に優しくなっていくのが新鮮でした。

また、健大をはじめ県内外の大学から教育実習の学生も受け入れています。さらに、健大の看護学科からは「小児看護実習」の一つとして、100名あまりの学生を年間を通して受け入れています。大学生も子供たちとの生活やスキンシップを本当に楽しんでいるようです。

16日(木)は、12名の学生が保育に当たってくれました。子供たちも様々な人と出会うことが嬉しく、人との関わり方の幅を少しずつ広げているようです。

(文責 園長)